

科目名	地理学概論		担当教員	森田 匡俊	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2SGG101
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	ディスカッション、ディベート				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	この授業では、地理学の基礎的な用語・概念・知識についての講義を通じて地理学的な視点・考え方を習得することを目標とする。地理学は人文・社会現象と自然環境の双方を扱う学問である。人文地理学（都市地理学、経済地理学など）と自然地理学双方の基礎的な用語・概念・知識の理解を通じて、現代社会における諸問題を地理的な視点で捉え、自分なりの考えを持つことができるようにする。				
授業の概要	まずは、地理学の視点や考え方の基礎について講義を行う。次いで、現代の都市・経済現象を地理学の観点からどのように捉えることができるのか、実例を基に講義していく。				

授業計画	
第1回	地理学とはどんな学問か？
第2回	地理学史（歴史と分野）
第3回	地理的視点とは
第4回	地理学の道具・地図Ⅰ（歴史）
第5回	地理学の道具・地図Ⅱ（ルールとマナー）
第6回	地図は嘘つきである（階級区分の問題と集計単位地区問題）
第7回	距離の測り方（場所と場所との関係）
第8回	結びつきの測り方（人と人との関係）
第9回	頭の中の距離と地図（場所と人との関係）
第10回	認知地図の発達と方向音痴
第11回	都市・地域・場所のイメージ1
第12回	都市・地域・場所のイメージ2
第13回	少子化と日本のニュータウン
第14回	ジェンダー化された空間
第15回	学修到達度の確認試験および解説と授業全体の総括

事前学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
事後学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の結果について、講義内で紹介しコメントする。個別の質問には随時コメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	各回の内容理解度に応じて評価する。
上記以外の試験・平常点評価	70%	講義全体を通じての内容理解度、および地理的視点からのアプローチスキルの習熟度に応じて評価する。
定期試験	0%	
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.
参考資料	適宜紹介する.			